

切除不能 肝細胞癌

ニボルマブ+イピリムマブ療法レジメン

全身化学療法歴のない切除不能な肝細胞癌

A-17 <21日間隔・最大**4回**（5回目以降は最長2年間ニボルマブ単剤）>

治療日		第1日目	第2日目	第3～21日目	第22日目
治療内容					
検査	採血	○			○
	胸部X線	○			○
診療	副作用の問診	○			○
	検査結果	○			○
治療中止基準	①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>5×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ベースライン ⑦G2以上の下痢	—	—	—	—
点滴	① 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓			↓
	②生理食塩水100ml +オプジーボ 80mg 点滴静注【30分】 全量100mL にする フィルター付きルートで	↓			↓
	③生食 50ml 点滴静注【30分】	↓			↓
	④生理食塩水 20ml （生食50mLの容器で） +ヤーボイ 3mg/kg 点滴静注【30分】 フィルター付きルートで	↓			↓
	⑤ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓			↓

看護のPoint!!

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）